



JASDAQ

平成 25 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 執行役員総務人事部長 井野 政之
電 話 04-7137-3113

第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異

及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 8 月 9 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 3 月期通期の連結業績予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,658	百万円 △87	百万円 △87	百万円 △24	円 銭 △1.50
実 績 値 (B)	2,762	△305	△267	△184	△11.58
増 減 額 (B-A)	104	△218	△180	△160	
増 減 率 (%)	3.9	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	2,785	4	△32	△35	△2.20

差異の理由

フライアイレンズについて、急激に受注が増加しましたが、社内の生産体制が整わず、各加工工程において外注への依存量が増えました。また、成型の炉についても専用炉では間に合わず、一部製品について他の炉での生産で対応したことで、成型歩留りは想定を下回り、原価アップの要因となりました。こうした理由からフライアイレンズで大きな売上損失が生じ、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は、いずれも予想を下回りました。

2.平成 26 年 3 月期通期連結業績予想の修正

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,876	百万円 93	百万円 110	百万円 155	円 銭 9.72
今回修正予想 (B)	5,558	△306	△240	△156	△9.78
増 減 額 (B-A)	△318	△399	△350	△311	
増 減 率 (%)	△5.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	5,201	△343	△303	△311	△19.51

修正の理由

通期連結売上高については、フリット事業について、量産受注が当初の想定より遅れを見せていることなどにより、前回予想を下回る見込みです。

フライアイレンズ及びフリット事業について、次の対策を実行することで、第 3 四半期以後の 6 ヶ月間では、連結営業損失がほぼ生じないところまで業績は回復する見込みです。

①フライアイレンズの採算改善

(I)生産性の向上

(i)良品率の向上

成型条件の確立等による歩留り向上

蒸着条件のより一層の安定化による歩留り向上

(ii)内製化の推進

自動スクライブ機の増設による切断工程の内製化率の向上

面取り機の増設による研磨工程での内製化率の向上

(II)外注管理の徹底

外注先での歩留り向上、外注単価の低減を図る。

生産計画の再構築による外注数量の適正化

(III)製品単価の適正化

上記の徹底した原価低減を図るとともに、得意先には、適正価格への改訂のお願いをいたしております。

②フリット事業の早期立ち上げ

既に試作出荷をしている案件について、量産受注につなげていくことで、事業の早期立ち上げを図る。

以上